

出演する振付家・ダンサーへの質問（木村覚より）

回答者：関かおり

（１）自分の方法論を言葉にしてもらえますか。

頭の中に湧いてきた絵や行動からイメージを膨らませていきます。
そこから文章を書いて振りを起こしたり、その浮かんできた絵をどのようにしたら、現実のものに出来るか、頭と身体で考えます。
基本的にはビジュアルから入ることが多いです。
あとは、動きに意味がついたり、感情が入ってくることが多いです。

（２）作品を作る際にもっとも心がけていることは何ですか。

自分に嘘を吐かない。

（３）意識している同時代の作家はいますか（ダンス／その他のジャンル）、その理由を教えてください。

「意識している」という言葉がピンと来ないのですが
東芋さん、会田誠さんは気になります。

（４）意識している過去の作家はいますか（ダンス／その他のジャンル）、その理由を教えてください。

「意識している」という言葉がピンと来ないのですが、今気になっているのは
ヘンリー・ダーガー。
好きな作家は夢野久作、安部公房、シシリー・メアリー・バーカー、石田徹也

（５）いまのコンテンポラリー・ダンスをめぐる環境についてどう考えていますか。問題点、課題は何ですか。

例外もあるけれど、客層が広がりづらい。

最近はまだ少し変わってきたように思いますが、
ある意味「なんでもあり」の世界ではあるけれど、
「なんでもあり」だけでは苦しくなってきたような気がする。
だからといって、テクニックだけを鍛えれば良いとは思ってないんですが・・・。

（６）ダンスの批評の現状についてどう考えていますか。問題点、課題は何ですか。

正直、「批評」というものがよくわかっていません。
批評家の方は、世の中に対してものすごい影響力を持っているんだなと思います。
自分が観に行くときに参考にすることもあるけれど、そこに振り回されてはいけないと思っています。

（７）今後の作品作りで、心がけようと考えていることはありますか。あれば、それはどんなことですか。

美術をちゃんと創りたい。
身体のズレに向き合いたい。
観客側の身体を引きずれるようなものが出来たらいいなと思います。